

1 【活動の趣旨】

「手をつなぎ、心通わす 誘・融（とけ合う）老上」をテーマに、地域の子どもたちが地域のおとなと共に学び、交流が深まり合う事業を行う。

2 【特徴的な活動内容】

「わんぱくプラザ老上」

活動実施日：5月～2月（全7回）

活動場所：老上まちづくりセンター他

対象：小学1～6年生

地域ボランティアの方々に「子ども事業サポーター」として企画・運営していただいている。

昨年度から引き続き「農業体験(田植え・稲刈り)」「花植え」を実施。新しい試みとして子どもたちとカカシ作り挑戦した。今年度は例年のサマーキャンプに替わり4、5、6年生対象の「防災お泊り体験」を開催。

起震車グラドン号や煙中体験、段ボールによる避難所設営、たかしま災害ボランティアネットワーク「なまず」さんによる講座、防災グッズ工作など、1泊2日を通して地震を想定した防災体験学習を行った。その中でも特に食事を全て防災食にしたり、飲料水を1人2Lで過ごした体験は、より本格的な防災体験となった。

その他、安土方面への「ハイキング」やクリスマス料理の「うきうきクッキング」「お楽しみ会」等を実施。

年間を通して子ども達が自分で考え、行動し、学ぶ力を育てている。

3 【実施に当たっての工夫】

- ・地域交流を通して、子どもたちが多くの体験ができるように努めた。
- ・公募による子ども事業サポーターだけでなく、各種団体の皆さんにご協力いただき、より多くの大人たちと交流できる機会を設けた。
- ・班分けした子どもの各グループにリーダーを指名し、グループ活動の円滑化に努めた。

4 【事業の成果】

- ・地域の皆さんの関わりにより、子どもたちが楽しみながら体験、学習することができた。
- ・今年度より会員制ではなく、都度参加を募る形式にしたことにより、今まで参加していなかった児童も、自分が興味を持った活動に参加してくれるようになった。

5 【事業実施上の課題・今後の連携・協働活動実施に向けて】

- ・企画、運営を担う子ども事業サポーターを、毎年十分な人数確保できるかどうか課題である。
- ・今後も地域ボランティア、各種団体の方と保護者が共に関わりながら、子どもたちを育てていければと考える。



【 段ボールでの避難所設営 】



【 安土城跡ハイキング 】



【 カカシ作り 】